



“地域のことは地域で考えよう”

2013年12月27日

おきぎん県内景況・速報 2013年11月

—県内景況は、拡大の動きが強まる—
2013年9月から3ヵ月連続

■個人消費

スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。
百貨店売上高も前年同月を上回る。
家電卸出荷額は前年同月を上回り、新車販売台数も上回る。

■建設関連

公共工事請負金額は前年同月を上回る。
生コン、セメントともに前年同月を上回る。

■観光関連

入域観光客数は前年同月を上回る。
ホテル稼働率は、シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。
観光施設入場者数は前年同月を上回る。

■企業倒産

件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

現場主義とお客様からの信頼

※お気づきの点、不明な点などがございましたら、下記までご連絡ください。

(株)おきぎん経済研究所

TEL:098-869-8711 FAX:098-869-2200

おきぎん県内景況・速報(2013年11月分)

◎2013年11月 おきぎん「カトリア」景況図



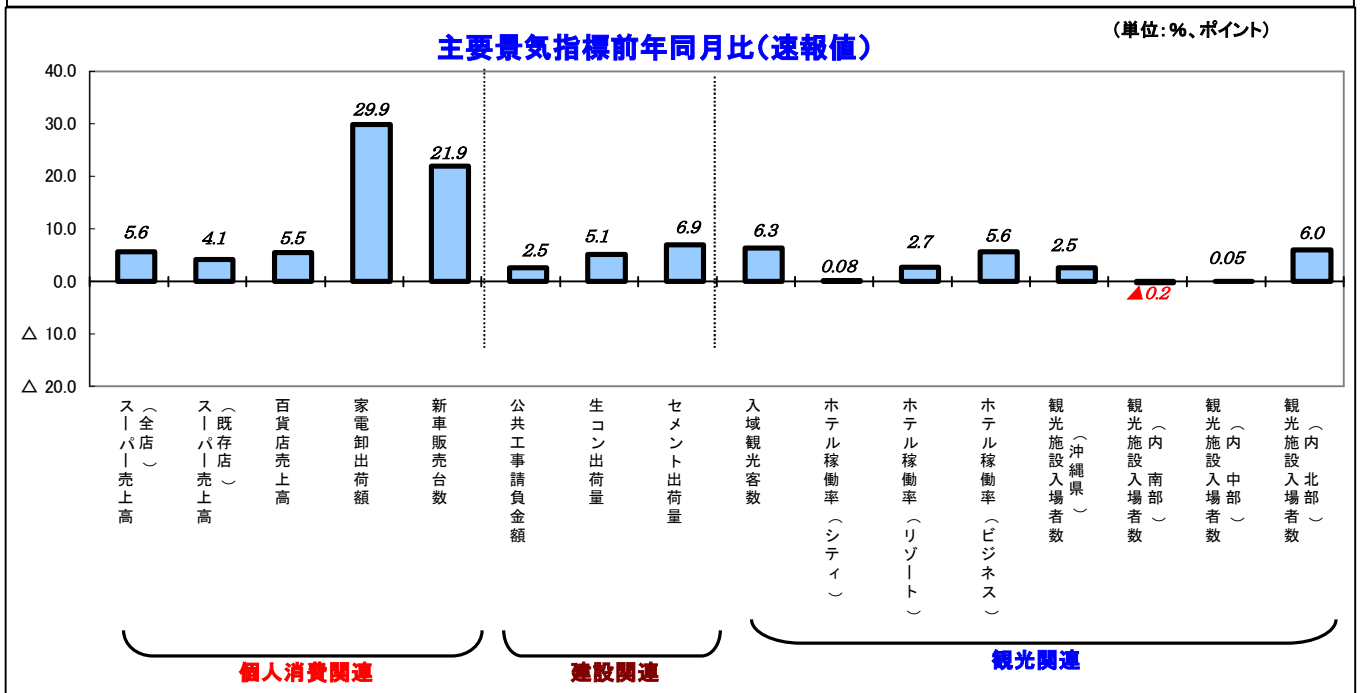
◎概況：県内景況は、拡大の動きが強まる。

11月の県内景況は、個人消費関連では、スーパー売上高は「全店ベース」「既存店ベース」ともに前年同月を上回りました。百貨店売上高は衣料品や身の回り品などが好調で前年同月を上回りました。耐久消費財である家電卸出荷額は太陽光パネル需要などにより前年同月を上回り、新車販売台数も新商品（新車種、モデルチェンジ等）需要などにより前年同月を上回りました。

建設関連では、公共工事請負金額は沖縄県や独立行政法人等の発注工事などにより前年同月を上回りました。建設資材である生コン、セメントはともに前年同月を上回りました。

観光関連では、入域観光客数は14ヵ月連続で前年同月を上回りました。ホテル稼働率はシティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回りました。観光施設入場者数は前年同月を上回りました。

このような状況に鑑みて、先月に引き続き、「県内景況は拡大の動きが強まる」と景気判断を据え置きました。(2013年9月から3ヵ月連続)



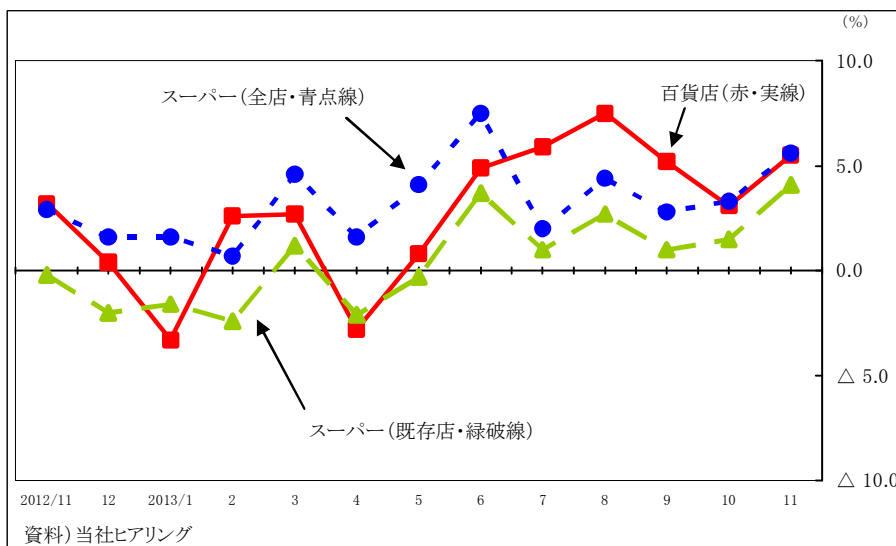
■個人消費:  (やや良い)

①スーパー・百貨店売上高…スーパー売上高は全店ベース、既存店ベースともに前年同月を上回る。百貨店売上高も前年同月を上回る。

単位: %

	スーパー売上額		百貨店 売上額
	全店	既存店	
2012/11	2.9	△ 0.2	3.2
12	1.6	△ 2.0	0.4
2013/1	1.6	△ 1.6	△ 3.3
2	0.7	△ 2.4	2.6
3	4.6	1.2	2.7
4	1.6	△ 2.1	△ 2.8
5	4.1	△ 0.3	0.8
6	7.5	3.7	4.9
7	2.0	1.0	5.9
8	4.4	2.7	7.5
9	2.8	1.0	5.2
10	3.3	1.5	3.1
11	5.6	4.1	5.5

注) 前年同月比



11月の個人消費関連では、**スーパー売上高**は、「全店ベース(前年同月比 5.6%増)」が16ヵ月連続で前年同月を上回りました。新規店舗の出店効果などにより、ウェイトの高い「食料品(同 6.0%増)」、「衣料品(同 3.3%増)」、「家庭用品(同 5.8%増)」が前年同月を上回りました。

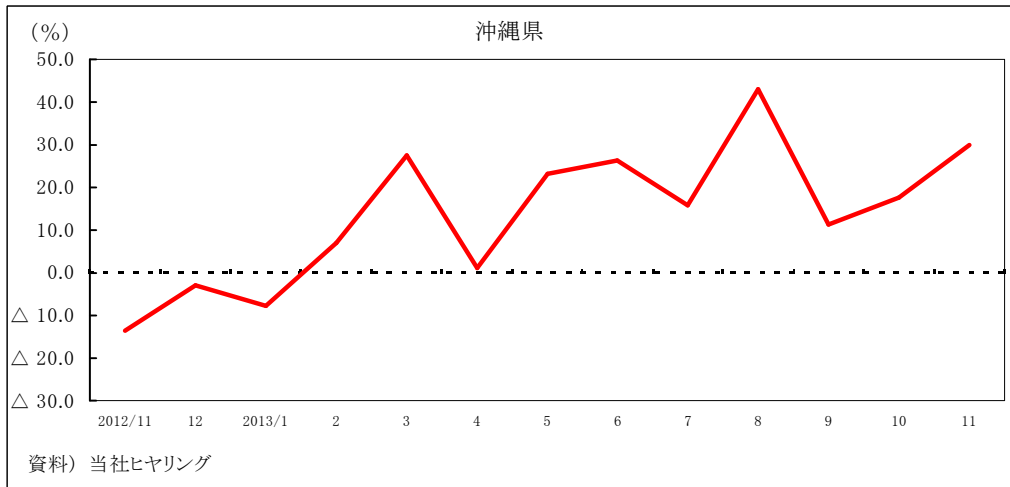
「既存店ベース(同 4.1%増)」では6ヵ月連続で前年同月を上回りました。品目別でみると、ウェイトの高い「食料品(同 3.9%増)」は、青果物(野菜、果物など)の相場高により売上高が増加したほか、昨年よりも一部店舗の営業日数が増加(昨年は改装による休業があった)したことなどから、前年同月を上回りました。「衣料品(同 3.0%増)」は、11月前半の夏物処分セールが好調に推移したほか、11月後半の気温低下により秋物・冬物衣料の需要が増加したことなどから、前年同月を上回りました。家電を含む「家庭用品(同 5.3%増)」はエアコンや冷蔵庫、洗濯機などの白物家電の売れ行きが好調で、前年同月を上回りました。

百貨店売上高は、衣料品や身の回り品の売れ行きが好調で、7ヵ月連続で前年同月を上回りました(同 5.5%増)。内訳をみると、ウェイトの高い「衣料品(同 4.4%増)」は、11月後半の気温の低下に伴う秋物・冬物衣料の需要増加や会員セールの開催などにより、主力商品の「婦人服(同 2.6%増)」、「紳士服(同 9.5%増)」、「子供服(同 10.4%増)」の売上げが好調に推移し、前年同月を上回りました。「身の回り品(同 18.7%増)」は販促効果(広告・品揃え強化)により前年同月を上回ったほか、「雑貨(同 7.8%増)」も店舗内での新規テナントオープン(2013年9月)により売上げが増加し、前年同月を上回りました。「食料品(同 3.1%増)」は、お歳暮などのギフト関連商品の売上げが好調に推移したことなどから前年同月を上回りました。

②家電卸出荷額…太陽光パネル需要などにより前年同月を上回る。

単位: %

	沖縄県
2012/11	△ 13.6
12	△ 3.0
2013/1	△ 7.8
2	7.0
3	27.5
4	1.1
5	23.2
6	26.3
7	15.9
8	43.0
9	11.3
10	17.6
11	29.9



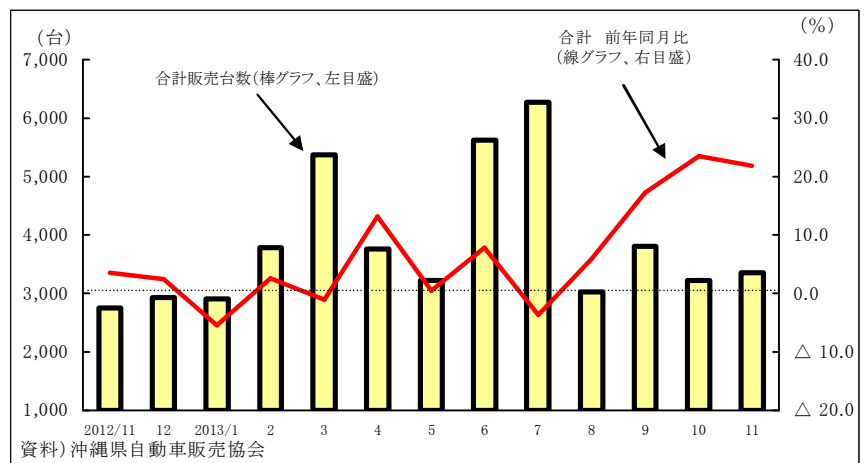
注) 前年同月比

家電卸出荷額は、継続的な太陽光パネル需要などにより、10 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 29.9%増)。品目別でみると、「太陽光パネル(同 62.8%増)」は、2012 年 7 月 1 日にスタートした「再生可能エネルギーの固定買取価格制度」の影響などにより需要が増加し、前年同月を上回りました。「エアコン(同 76.3%増)」は、新築物件向け(アパート、ホテル、住宅等)の需要が増加していることなどから、前年同月を上回りました。また、アナログ放送終了(2011 年 7 月 24 日)以降、需要低迷が続いていた「テレビ(同 15.4%増)」も 4 ヶ月連続で前年同月を上回りました。「冷蔵庫(29.2%増)」も新商品キャンペーンなどが好調で、前年同月を上回りました。

③新車販売台数…新商品(新車種、モデルチェンジ等)需要などにより前年同月を上回る。

単位: 台、%

	台数	合計	普通乗用車	小型乗用車	軽乗用車
2012/11	2,753	3.6	△ 12.7	14.7	3.8
12	2,925	2.5	△ 5.6	2.6	4.1
2013/1	2,902	△ 5.5	△ 25.2	△ 20.7	5.8
2	3,776	2.6	7.4	6.6	2.7
3	5,377	△ 1.1	△ 7.9	△ 6.4	4.5
4	3,763	13.2	△ 7.6	30.2	8.7
5	3,217	0.5	13.2	△ 3.8	△ 2.0
6	5,620	7.8	30.9	27.0	△ 13.4
7	6,267	△ 3.7	△ 7.8	△ 2.4	△ 9.2
8	3,023	5.8	△ 14.3	2.5	6.6
9	3,808	17.2	4.2	24.1	14.6
10	3,226	23.5	37.2	52.4	12.6
11	3,356	21.9	46.3	12.8	16.9



注) 前年同月比

注) 普通乗用車及び小型乗用車は登録車、軽乗用車は届出車の数値を表示。

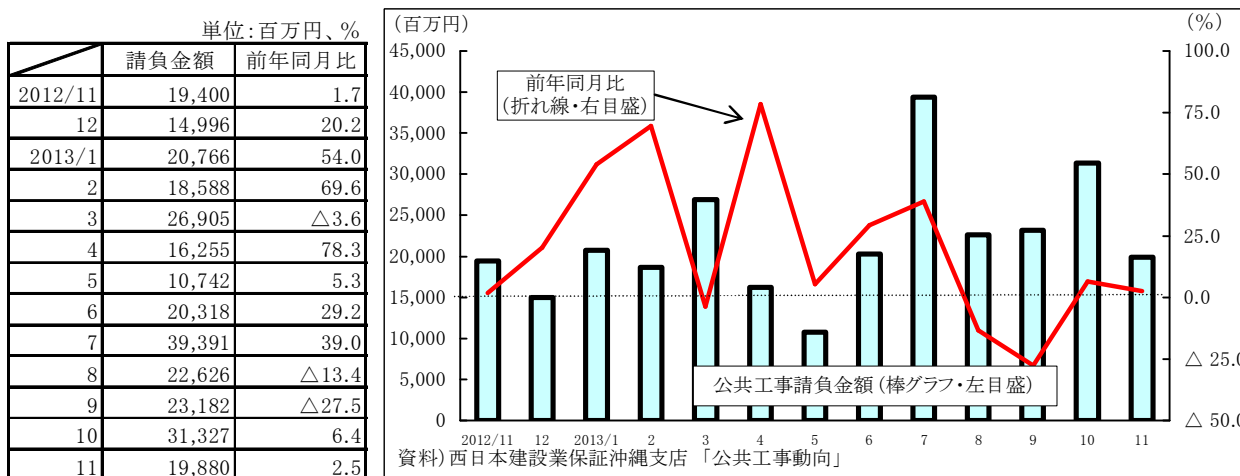
新車販売台数は、全体で 3,356 台となり、4 ヶ月連続で前年同月を上回りました(同 21.9%増)。新商品(新車種、モデルチェンジ等)の需要が好調に推移したことなどから前年同月を上回りました。車種別でみると、「普通乗用車(同 46.3%増)」が 3 ヶ月連続、「小型乗用車(同 12.8%増)」が 4 ヶ月連続、「軽乗用車(同 16.9%増)」も 4 ヶ月連続で前年同月を上回りました。

※普通乗用車及び小型乗用車は登録ベース、軽乗用車は届出ベースの数値を合算。



■ 建設関連: (良い)

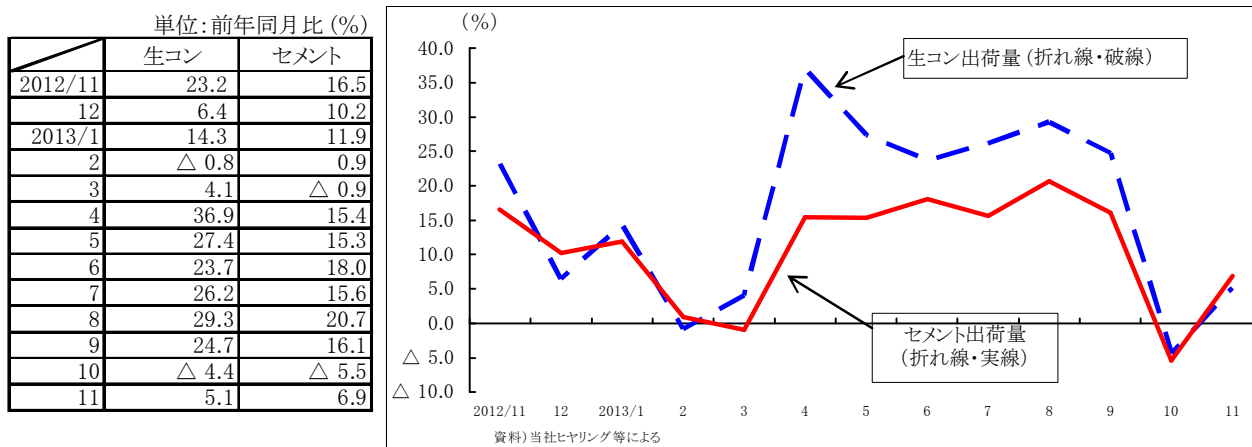
①公共工事…公共工事請負金額は前年同月を上回る。



11月の公共工事請負金額は、前年同月比2.5%増の198億8,000万円となりました(2ヵ月連続増)。

発注者別でみると、「国(同37.0%減)」や「その他の公共的団体(同23.4%減)」が前年同月を下回ったものの、「沖縄県(同33.9%増)」は宮古島市での伊良部大橋関連工事や北谷浄水場関連工事、「独立行政法人等(同295.9%増)」、「市町村(同0.2%増)」はうるま市庁舎建設工事などの大型案件工事により前年同月を上回りました。

②建設資材…生コン、セメントはともに前年同月を上回る。



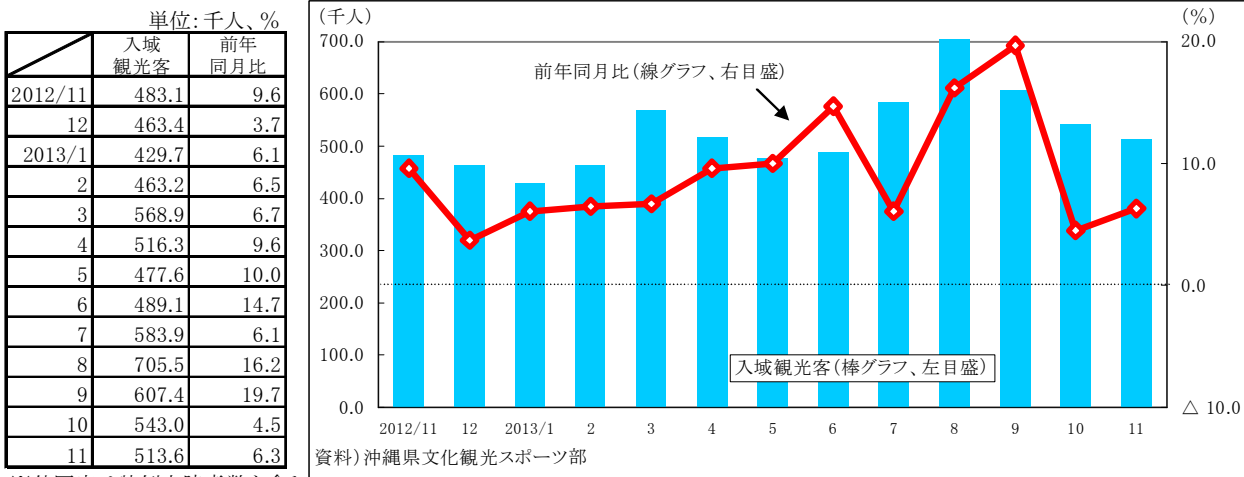
(注) セメント出荷量については速報値につき、確定数値ではない

建設資材関連では、生コンの出荷量は5.1%増加し、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。内訳では、公共工事向け出荷が前年同月より3.3%減少した一方、民間工事向け出荷は9.4%増加しました。セメントの出荷量は6.9%増と2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。



■観光関連: (良い)

①入域観光客数…14ヵ月連続で前年同月を上回る。



※外国客は特例上陸者数を含む

11月の入域観光客数は、30,500人多い513,600人(前年同月比6.3%増)となり、14ヵ月連続で前年同月を上回りました。

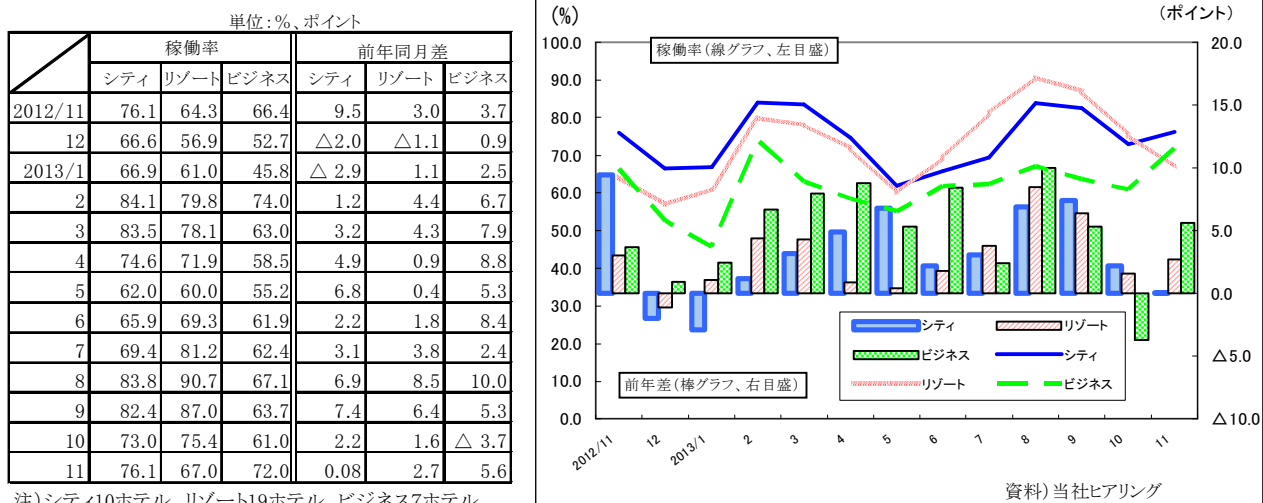
内訳をみると、「国内客(同2.4%増)」は新石垣空港開港やLCC就航効果、国内の旅行マインドが上向いていることなどから、2ヵ月ぶりに前年同月を上回りました。主要路線別でみると、「福岡方面(同4.6%減)」以外の各方面で前年同月を上回りました。

他方、「外国客(同134.3%増)」は、33,500人と4ヵ月連続で前年同月を上回りました。航空路線の拡充や尖閣問題等で前年落ち込んだ中国客(「中国本土(同約7.3倍)」)の反動増などにより、「台湾(同88.2%増)」「韓国(同161.5%増)」「香港(同250%増)」など各地域で前年同月を上回りました。

※ 2013年4月より外国客は特例上陸者を除いた数値も同時に公表。本表ではデータの連続性を勘案し特例上陸者数を含む数値を掲載。

※ 特例上陸者を除く2013年11月実績=全体511,700人(同6.1%増)、外国客31,600人(同137.6%増)、国内客は変わらない。

②ホテル稼働率…シティホテル、リゾートホテル、ビジネスホテルのすべてで前年同月を上回る。



注) シティ10ホテル、リゾート19ホテル、ビジネス7ホテル

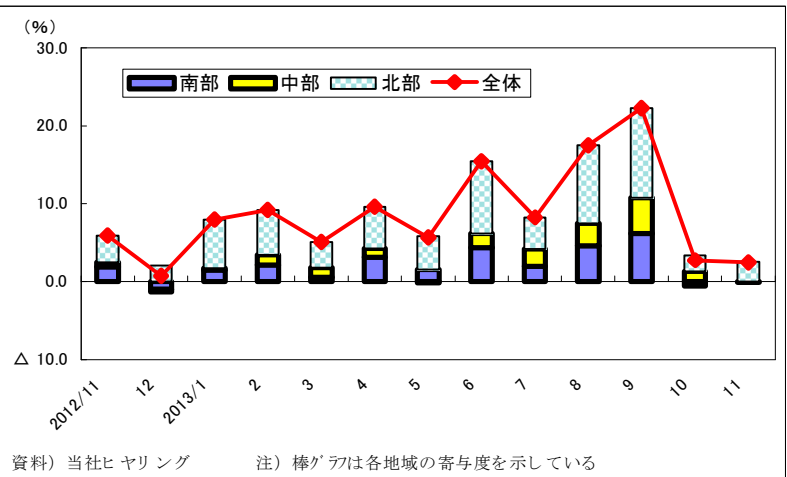
※公表後に改定する場合があります最新公表資料が確定値とする。

県内ホテル稼働率は、シティホテルが76.1%と0.08ポイント上昇(10ヵ月連続)、リゾートホテルが67.0%と2.7ポイント上昇(11ヵ月連続)し、ビジネスホテルが72.0%と5.6ポイント上昇(2ヵ月ぶり)しました。

③観光施設入場者数…13ヵ月連続で前年同月を上回る。

単位: %

	入場者数(前年同月比)			
	全体	南部	中部	北部
2012/11	5.9	4.3	4.1	8.3
12	0.7	△2.2	△2.6	4.9
2013/1	7.9	3.7	1.5	13.7
2	9.2	5.5	9.6	12.1
3	5.1	1.5	8.6	7.4
4	9.6	7.8	8.1	11.7
5	5.7	3.7	△1.1	9.7
6	15.4	10.6	14.5	19.9
7	8.2	5.9	18.6	7.5
8	17.5	13.2	21.2	19.4
9	22.2	17.4	38.6	21.9
10	2.7	△1.4	10.2	4.6
11	2.5	△0.2	0.05	6.0



*調査対象施設数=南部6、中部6、北部5施設

観光施設入場者数は、全体で前年同月より 2.5%増加 (13 ヲ月連続)しました。地域別にみると、南部にある観光施設は同 0.2%減と2ヵ月連続で前年同月を下回りましたが、中部は同 0.05%増と強含み横ばい、北部は同 6.0%増と13ヵ月連続で前年同月を上回りました。

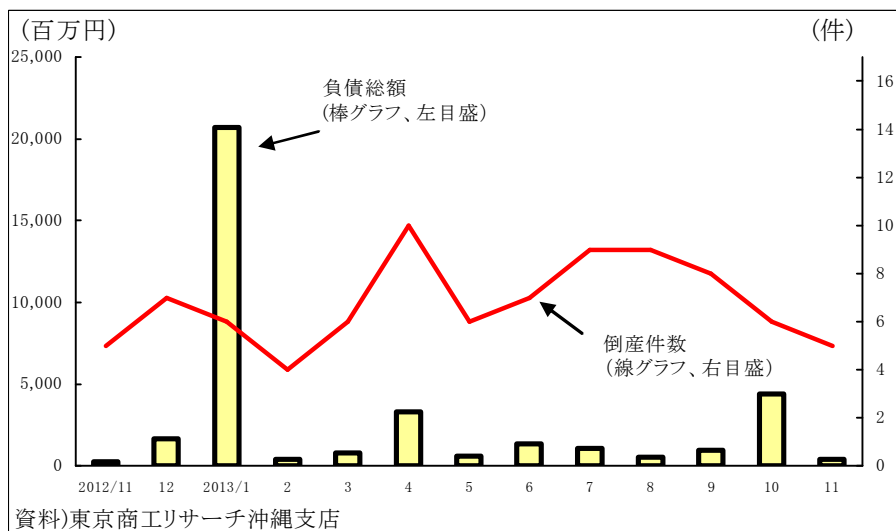


■企業倒産: (ふつう)

企業倒産…件数は前年同月と同数、負債総額は上回る。

単位: 百万円、件

	負債総額	倒産件数
2012/11	244	5
12	1,648	7
2013/1	20,703	6
2	406	4
3	813	6
4	3,295	10
5	603	6
6	1,320	7
7	1,083	9
8	519	9
9	971	8
10	4,376	6
11	419	5



11月の企業倒産件数は、5件(うち、10億円以上の大型倒産が0件、1億円以上の大口倒産2件)発生し前年同月と同数となりました。負債総額は、4億1,900万円と前年同月より71.7%増加しました。